

# 海外自治体幹部交流協力セミナー2015（ニューヨーク事務所管内） 地方交流事業概要

## 10月21日（水）【宮城県表敬訪問、行政説明】

若生副知事からは宮城県の地方財政、近年の人口動態、震災後の経緯、課題を説明いただき、その後の県プレゼンでは地理的特徴（リアス式海岸と海岸からの5キロ続く平地）によって起こった震災被害の拡大や、復興計画、仙台空港民営化、広域防災拠点について述べられた。どの質問も、この時点では誰が決定し、行動するのはどの人々か、といった明確に内容を知るための質問がなされており、がれき撤去について

はどの視察先でも同様の質問が挙がった。莫大な量の産業廃棄物の撤去には様々なケースを想定したいという参加者の要望が質問に現れていた。



宮城県行政説明

## 10月22日（木）【視察】

### （1）仙台空港

仙台空港では空港での死者が0名だったこと、6ヶ月での復旧を社長のリーダーシップにより成し遂げたことによる参加者からの賞賛があったが、復旧の段階で発動機を浸水想定外へ設置しなかったことへの指摘、費用負担、マネジメントについて等、当事者側の立場に模した質問が多く、参加者からの映像提供の要望など、印象に残る視察であったようだ。



仙台空港（伊藤社長による空港再開課程説明）



女川市場買受人協同組合にて

### （2）株式会社 GRA

大規模施設園芸実証圃場を視察。被災後の開発農作物について。

### （3）亶理町立郷土資料館

震災に伴う地理的説明、郷土の歴史や、日本の文化・歴史の説明を受けた。伊達藩の甲冑にそれぞれの意味合いがあることに参加者は興味を持った。

### （4）株式会社 WATALIS

郷土慣習と地域復興支援のコラボ商品の説明を受けた。

## 10月23日（金）【視察】

### （1）株式会社モビーディック

海外展開の製品および地域復興支援の説明を受けた。

### （2）女川視察

女川のまちづくり視察では住居移転費用の売買額、雇用状況について実生活問題についての質問が目立った。

### （3）女川市場買受人協同組合

海外支援、震災対策設備の説明を受ける。

## 10月24日（土）【松島観光】

## 10月25日（日）【秋保観光、市内商店街・アーケード散策】



松島 観欄亭にて



秋保 芋煮会を楽しむ参加者

## 10月26日（月）【視察、意見交換】

### （1）みやぎ復興パーク

復興支援の工業団地および先端技術を駆使した復興支援の説明。

### （2）意見交換会

参加者が震災復興に時系列における決定権者や、実施主（例：解体業者か市か）について確認することが多く、参加者各々の自治体とのシミュレーションを通して多くの課題解決に向けた意見が飛び交った。日本側の学校教育における防災教育は海外では珍しく、リスクマネジメントの良い機会になるという防災教育の構築につながった。

このように文化の違いの観点からも、厳しい指摘であったり、賞賛されるべき取り組みが模範であったりとセミナーを通して有意義な意見交換が行われた。参加者からも今後も宮城県の取り組みに注目し、お互いの連携を確認した。



宮城 復興パークにて



意見交換会